

2021年5月吉日

特定非営利活動法人

がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会

米国 MD アンダーソン癌センターの研修コース

‘Advanced Molecular Pathology Course’の現況アップデート

「特定非営利活動法人がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会」（略称：NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会）は、表記研修コースの主旨に賛同し、この活動を後援しています。同コースの現況をアップデートいたします。

このたび、米国 MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology Course に長崎大学医歯薬総合研究科病理学（福岡順也教授）が参加した共同研究の論文が公開されました。

掲載された Cancer Discovery の IF は 29.497 です。

Resolving the spatial and cellular architecture of lung adenocarcinoma by multiregion single-cell sequencing

Ansam Sinjab, Guangchun Han, Warapen Treekitkarnmongkol, Kieko Hara, Patrick M Brennan, Minghao Dang, Dapeng Hao, Ruiping Wang, Enyu Dai, Hitoshi Dejima, Jiexin Zhang, Elena Bogatenkova, Beatriz Sanchez-Espiridion, Kyle Chang, Danielle R. Little, Samer Bazzi, Linh M. Tran, Kostyantyn Krysan, Carmen Behrens, Dzifa Y. Duose, Edwin R. Parra, Maria Gabriela Raso, Luisa M Solis, Junya Fukuoka*, Jianjun Zhang, Boris Sepesi, Tina Cascone, Lauren Averett Byers, Don L. Gibbons, Jichao Chen, Seyed Javad Moghaddam, Edwin J. Ostrin, Daniel Rosen, John V. Heymach, Paul Scheet, Steven M. Dubinett, Junya Fujimoto‡, Ignacio I. Wistuba, Christopher S. Stevenson, Avrum Spira, Linghua Wang, Humam Kadara

Cancer Discov May 10 2021 DOI:10.1158/2159-8290.CD-20-1285

<https://cancerdiscovery.aacrjournals.org/content/early/2021/05/03/2159-8290.CD-20-1285>

* 長崎大学医歯薬総合研究科病理学

‡ 米国 MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology Course

MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology コース

(MD アンダーソン AMP コース)の後援について

米国テキサス大学 MD アンダーソン癌センターは、癌部門で全米 1 位^{*1}とされる癌センターで、約 2 万人が働いています。最先端治療だけでなく最先端医療の研究開発にも優れていることから、世界各国から癌患者、研究者、研修医等の医療従事者が集まってきます。

MD アンダーソン癌センター教授陣の一人である藤本淳也先生は、2012 年より同施設にて、トランスレーショナルがん研究において、日本の病理を専門とする熱意ある臨床検査技師^{*2}に対する研修の機会を提供してきました。これは、臨床検査技師がより深い知識を求めて留学する場合において公式な枠組みがないことに鑑みて始められたものです。

現在は、最先端の機器が定期的にはリニューアルされ、病理学をベースにした最先端のがん治療プロジェクトで有機的に運用されている環境が、熱意ある学部大学生、大学院生、研究に興味のある病理医、病理学臨床検査技師、病理学をベースとした分子病理技術に興味のある方に提供されています。

1. 最先端の分子生物学的手法をいち早く習得し、日本の病理学研究室、検査室へのフィードバックを担いたい。
2. アカデミアにおけるトランスレーショナルリサーチのコンセプトを学び、基礎研究を現実の医療に応用し、医療の発展に貢献する流れを牽引したい。
3. 次世代の認定病理検査技師、学位取得研究者や若手医師に新たなキャリアパスを提示・指導したい。

MD アンダーソン AMP コースは、世界をリードできる人材育成の可能性を秘めています。このプログラムは、病理医不足と云われて久しい病理学を取り巻く現状の中で、病理医とともに病理を理解する MD、Non MDを「先端医療へトランスレーションする病理ベースの知識を共有する」チームの一員としてスキルアップをめざすことで、病理医不足の現状を側面から支援し、現場をボトムアップする方法として期待されます。

NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会は、これまでの活動を経て MD アンダーソン AMP コースの主旨に賛同し、この活動を後援致します。

*1 : アメリカ全土の 5000 病院の中から疾病毎に順位をつけたもので、アメリカ 3 大ニュース週刊誌の U.S. News & World Report' s より発表される

(<http://health.usnews.com/best-hospitals/rankings/cancer>)

*2 : 臨床検査技師 (Ph. D コース大学院生、大学院修了修士保持者)、将来分子病理業務に携わる計画のある学位保持者

Advanced Molecular Pathology コースに関するお問い合わせ先

Junya Fujimoto M.D., Ph.D.

Associate Professor, Translational Molecular Pathology

Thoracic Molecular Pathology Lab

The University of Texas MD Anderson Cancer Center

Visiting Associate Professor

Department of Pathology

Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

West Japan Oncology Group young Investigators club for Next Generations (WING)

Translational Research Advisor

Department of Pathology, Kameda Medical Center

Visiting Pathologist

The University of Texas MD Anderson Cancer Center

Department of Translational Molecular Pathology

LSP9.4208

Unit 2951, 2130 W Holcombe Boulevard

Houston, Texas 77030

Tel: (713) 745-4314

FAX:(713) 563-8821

Pager:(713) 606-0581

Mail address; JFujimot@mdanderson.org

Alternate Contacts:

Emily Lang Administrative Asst, Translational Molecular Pathology

T: (713) 792-6110

Email: elang@mdanderson.org

Website

https://www.researchgate.net/profile/Junya_Fujimoto2

https://scholar.google.com/citations?user=Z_17UogAAAAJ&hl=en&oi=ao

<http://jglobal.jst.go.jp/en/public/201301021354966792>

http://faculty.mdanderson.org/Junya_Fujimoto/Default.asp

http://researchmap.jp/junya_fujimoto2210/

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：NPO 広報委員 椎名博之（サクラファインテックジャパン株式会社）

TEL03-5643-2632 FAX:03-5643-3381 e-mail:byorinpo@pathcare.jp